



令和5年度 熊本外語専門学校 自己評価・学校関係者評価結果

■委員構成

選任区分	所属等
高等学校関係者	元公立高等学校校長
企業関係者	関連企業の元役員
企業関係者	関連企業の元社員
卒業生	卒業生
保護者	卒業生保護者

■学校関係者評価委員会実施報告

第1回委員会	
<p>日時 令和5年6月9日(金) 13時40分開催 場所 熊本外語専門学校 603教室 出席者 評価委員5名 学校側3名</p> <p>(1) 開会 (2) 校長挨拶 (3) 出席者紹介 (4) 議事 ア 令和4年度総括 イ 令和5年度計画 ウ 質疑応答並びに提言 エ その他 (5) 閉会</p>	
第2回委員会	
<p>日時 令和6年3月8日(金) 13時40分開催 場所 熊本外語専門学校 603教室 出席者 評価委員5名 学校側4名</p> <p>(1) 開会 (2) 校長挨拶 (3) 議事 ア 令和5年度学校の取組 イ 自己評価 ウ 質疑応答並びに提言 エ その他 (4) 閉会</p>	

■学校評価の進め方

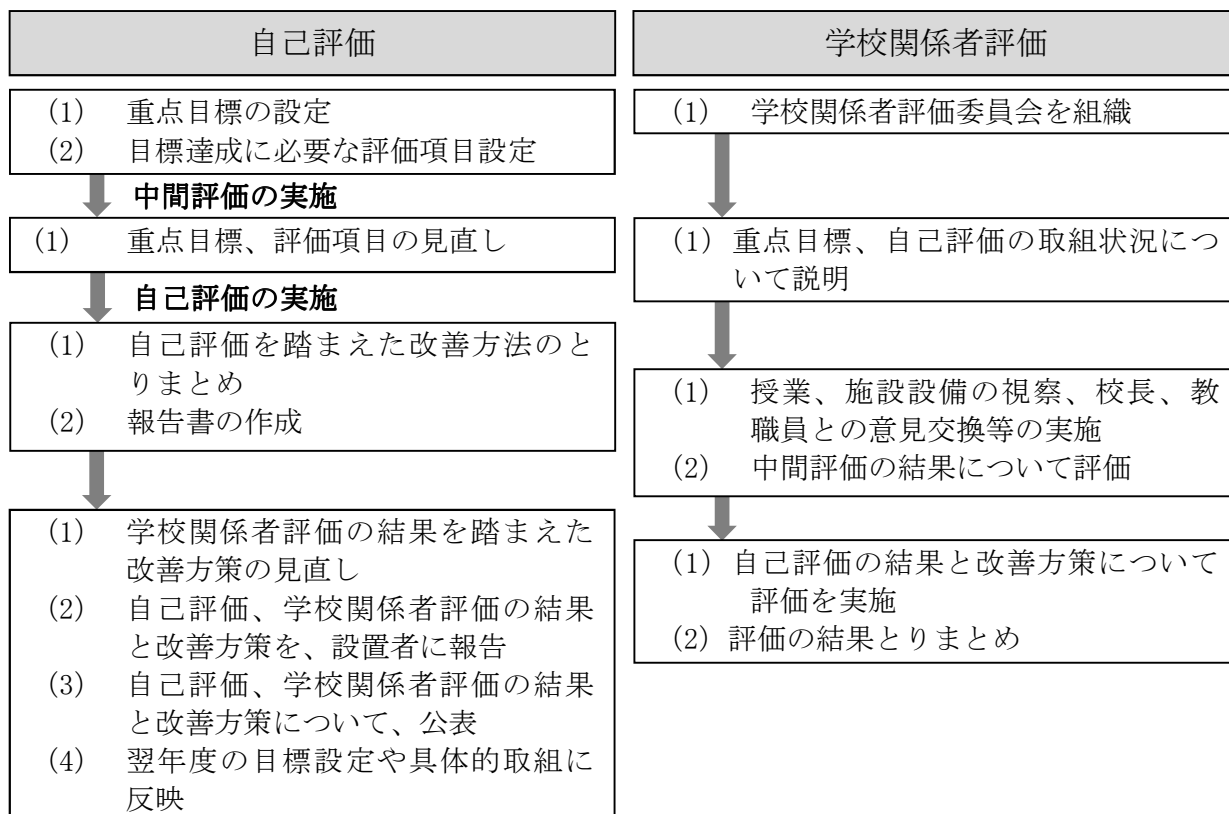
学校関係者評価の実施方法

① 学校関係者委員会

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者委員会を組織する。そのメンバーは、①卒業生、②保護者、③高等学校校長OB、④企業関係者、⑤企業関係者（もしくは財務専門家）の5名とする。尚、企業関係者の選定にあたっては、本校生の就職先で主に語学力を活かした職場を抱えている企業を選定する。

② 学校関係者委員に、特に関わりのある重点目標、計画や自己評価、今後の取組方針などを説明し、学校見学や対話を通して教育活動、学校運営等に係る課題や今後の方向性等に助言をいただく。学校関係者委員会は、該当年度の学校が行った自己評価の結果の内容が適切かどうか、自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか、学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか、学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうかなどを評価する。

③ 評価委員会は6月、3月の年2回実施する。



1 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づき学問の探求と技術の修得に情熱をもつ青少年に対し、外国語および日本語の教育を通して、常に時代の流れに対応し、国際化社会で活躍できる、有能にして礼節ある人材を養成することを目的とする。

- (1) 語学力の向上を資格取得や就職進学に結び付けることをめざす。
1年次から英検、中検、韓検、TOEIC、並びに日本語能力試験などの語学資格試験に挑戦させ、語学への積極姿勢を養う。
※能力別編成などの取り組み。
※英検 or TOEIC受験は必須とする
- (2) 出席率の向上と退学者の減少をめざす。
出席が学力向上及び生活習慣の形成につながるのとのお考えのもと、出席も単位取得の条件として生徒の出席を促す。また、毎年見られる退学者をいかに減らすことができるか有効な対策を考える。
- (3) 入学者 80 名確保をめざす。
学校の運営継続に必要な学生数が大体 1 学年あたり 80 名であるので、その数を確保することに注力する。

令和 5 年度項目別自己評価及び、学校関係者評価は以下のような結果になりました。
この自己評価及び、学校関係者評価に基づき、全ての項目において更に高い評価を得られるよう、一層努力して参ります。

2 学校評価 (学校自己評価・学校関係者評価)

評価の基準 (適切：4 / ほぼ適切：3 / やや不適切：2 / 不適切：1)

学校評価における取組の目標と具体的方策

(1) 教育理念・目標		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①学校の理念・目的等が学生、関係業界、保護者等に周知されているか。	2	2
【目標】 ・教育理念目的等の学生、関係業界、保護者等への周知		

【具体的方策】		
・まず学生に教育理念、目標を機会ある毎に周知させる。次に関係業界・保護者等への周知徹底を図る。		
【成果と課題】		
・周知徹底が不十分		
-自由記入欄-		
・語学検定の目標達成が今後一番必要だと考えます。 ・保護者としては英語圏のホームパーティーみたいなものや英会話教室などのイベントを行って、奨学生・中学生の保護者の方にも学校を知ってもらったりするのも一つの手段かなとも思います。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②各科の教育目標は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3	3
【目標】		
・変化の激しい業界のニーズの把握		
【具体的方策】		
・語学力を必要とする業界はどのような業界か、またどんな言語が必要とされるかを調査する。		
【成果と課題】		
・ある程度理解されているので、更に理解を深める		
-自由記入欄-		
業界は基本英語だと思います。英語検定準1級を取得すれば就職も進学も有利では。TSMCの台湾から来た社員ファミリーとのコミュニケーションは英語で十分通用するようです。		
(2) 学校運営		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①学校運営は、目的に沿った運営方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか。	3	3
【目標】		
・国際化、IT化の進む社会において必要とされる語学力とコンピュータスキルを十分身につけること。		
【具体的方策】		
・語学力は授業を最大限に活用しながら足りないところは学生の自助努力、積極性を促す。コンピューターは様々なテスト合格を目標に能力の向上に努める。		
【成果と課題】		
・特に語学力に於いて不十分、語学力の更なる伸長を目指させる		
-自由記入欄-		
・学生に向けての計画、実行、振り返りが十分になされている。 ・DX時代、設備投資にお金はかかるとは思います、時代が求める効率化と質の向上は企業にも求められていることです。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②情報システム等による業務の効率化が図られているか。	3	3
【目標】		
・電子黒板は活用されているが、更なる活用の探求 ・IT化の推進に伴う更なる業務の効率化		
【具体的方策】		
・業務の効率化の追求。そして、Teamsの更なる分野への活用、出席チェックのIT化をはかる。		
【成果と課題】		
・Teamsはよく利用されている。 ・出席チェックのIT化は未だ出来ていない。実施を目指す。		
(3) 教育活動		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ等）が体系的に位置づけられているか。	3	3
【目標】		
・就職を希望する全ての学生が積極的にインターンシップを経験し、将来の仕事に対する認識を深めることを目指す。		

【具体的方策】		
・いろいろな職種、あるいは希望する職種などできるだけ幅広い分野のインターンシップを促す。		
【成果と課題】		
・個人差はあるが積極性が見られる。全員に波及する。		
-自由記入欄-		
・学生に人間的な成長を促すように努められている。		
・現状、就職においては売り手市場です。学生もワンランク上の企業へアタックするよう頑張ってください。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか。	3	3
【目標】		
・社会的信用性を保つためにも、成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準にはできるだけ明白な基準を設ける。		
【具体的方策】		
・成績評価は年2回の定期テスト、出席を基準として行い、単位認定、進級、卒業判定にも明白な基準を設ける。		
【成果と課題】		
・かなりきちんとできている。体調不良者の取り扱いが課題。		
-自由記入欄-		
・学生の真の実力がつくように努力されている。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
③人材育成教育を実践できる要件を備えた教員を確保しているか。	3	3
【目標】		
・進学、留学、就職の各分野で実践的経験のある教員を出来るだけ確保し、人材育成教育の充実をはかる。		
【具体的方策】		
・進学は学科教育の経験が豊富な教員、また留学にはネイティブの先生の活用、観光・航空分野では実務経験豊かな教員の確保に努める。		
【成果と課題】		
・かなり確保できている。学生のやる気をどれだけ引き出せるか。		
(4) 学生指導		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①学生の基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか。	2	2
【目標】		
・基本的な生活習慣の確立と授業への出席及び成績との関係には深い関係が見られるので、良好な出席を保てるよう配慮する。		
【具体的方策】		
・特に出席の悪い学生には各担任を中心に働きかけて出席を促し、それを通じて基本的な生活習慣の確立を目指す。		
【成果と課題】		
・個人差があるが一定の成果が出ている。全員に及ぼすこと。		
-自由記入欄-		
悩みを相談できるカウンセラーが必要では。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②学生の安全管理のための取組等が行われているか。	3	3
【目標】		
・通学中、学校内においても交通事故、転落事故等に注意し、できるだけ安全運転を心がけ危険行為をしないよう指導する。		
【具体的方策】		
・交通ルールの順守、スピードの出しすぎの抑制に努めるよう指導を徹底し、窓から身を乗り出すなどの危険行為を戒める。		
【成果と課題】		
・学生への周知はある程度為されている。全員に徹底すること。		

-自由記入欄-		
<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市内は市電が運行しているため、通学に車、単車を使用する学生は再度交通法規の確認を。 ・最初に記入しましたが、英語圏のホームパーティーみたいなものや英会話教室などのイベントを行って、奨学生・中学生の保護者の方にも学校を知ってもらったりするのもいいのかなと思います。 		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
③進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか。	3	3
【目標】		
・各学生から目指している進学先、就職先に進めるよう職員が協力しながら支援する。		
【具体的方策】		
・進学については、学生の意向を尊重しつつ達成に向けて必要な学力の伸長を促し、就職指導も個々の学生と面談を通して目標達成を目指す。		
【成果と課題】		
・担任及び担当者を通じてかなり支援ができています。更なる向上を目指す。		
-自由記入欄-		
就職も進学も門戸は大きく開かれてきていると思います。努力し語学検定の目標達成が次の進路へつながると思います。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
④学生・保護者からの相談体制は整備されているか。	3	3
【目標】		
・学生・保護者とのコミュニケーションを密にし、相談には担任を中心にいつでも即応できる体制の構築を目指す。		
【具体的方策】		
・できるだけ時間的に柔軟に対応し、学生・保護者の相談事項に耳を傾け、解決策を共に探っていく。		
【成果と課題】		
・担任を通じてある程度コミュニケーションははかれている。更なる徹底を目指す。		
-自由記入欄-		
担任と学生のコミュニケーションの良さは少人数クラスの強みです。		
(5) 特別活動		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①ボランティア活動の奨励・支援しているか。	1	1
【目標】		
・地域とのつながりを意識させ、地域の中で貢献できる意義と喜び、充実感を感じてもらう。		
【具体的方策】		
・地域のちり拾いなどの環境美化活動に参加することで充実感、自己肯定感を味わわせる。		
【成果と課題】		
・特にやっていない。大いに努力が必要。		
-自由記入欄-		
熊本城のお膝元の学校ですから熊本城の清掃などいかがでしょうか？		
(6) 学修成果		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①進学率や就職率の向上は図られているか。	3	3
【目標】		
・進学率・就職率共に100%達成を目指す。		
【具体的方策】		
・学生の学力向上に努め、最終的に希望校への進学を実現させ、就職活動も本人の積極性を促し希望する企業への就職を支援する。		
【成果と課題】		
・かなりの割合で進学、就職はできている。更なる高みを目指す。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②資格取得率の向上が図られているか。	3	3
【目標】		
・資格取得（語学、コンピューター、その他）にできるだけ積極的にチャレンジさせ、各学生に将来の助けとなるような指導をする。		

【具体的方策】 ・英検、TOEIC、コンピューター情報処理試験、旅行関係の国家試験など積極的な受験を勧める。 ・英検（またはTOEIC）の受験は必須とする。		
【成果と課題】 ・特に語学系の資格取得率が不十分。語学の必要性を訴え資格取得を促す。		
-自由記入欄- 外語専門学校ですので語学の検定資格取得が一番です。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
③退学率の低減が図られているか。	2	2
【目標】 ・1人の退学者も出さないことを目指す。		
【具体的方策】 ・退学者の通例として、出席率が悪くなる傾向があるので担任を中心としてそのような学生には早めに働きかけることで退学を防止することに努める。		
【成果と課題】 ・退学率がかなり高い。より努力が必要。		
(7) 学生支援		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3	3
【目標】 ・経済的困難な学生に勉学を続けてもらうためにできるだけ経済的援助を得るための努力をする。		
【具体的方策】 ・「高等教育の就学支援制度」、学生支援機構の奨学金、その他の支援制度を有効に活用して学生の経済的負担軽減をはかる。		
【成果と課題】 ・利用できる支援制度はかなり活用できている。他にも支援できる方法がないか調査が必要。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3	3
【目標】 ・学生の健康維持を図るため毎日の体温測定、定期的な運動、健康診断などを行う。		
【具体的方策】 ・年に1度の健康診断、日々の体温測定の推奨、救急救命法の実習、AEDの設置等に努める。		
【成果と課題】 ・健康診断の項目が充実していない。項目の充実化を目指す。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
③保護者と適切に連携しているか。	3	3
【目標】 ・学生の指導をよりよく行うために保護者とのコミュニケーションをはかることに努める。		
【具体的方策】 ・できるだけ密に直接、間接に保護者とコミュニケーションを行う。特に問題を抱えている学生の保護者とのコミュニケーションに努める。		
【成果と課題】 ・担任を通じてかなり為されていると思う。更に努力が必要。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
④学力的に遅れている学生に支援はしているか。	3	3
【目標】 ・学力の遅れている学生の学力を上げるために有効な対策を考え支援する。		
【具体的方策】 ・つまづいている箇所を学生と共有し、弱点を把握出来たらその部分の強化を担当を中心にはかる。		
【成果と課題】 ・伸々個別指導できる時間がない。時間の確保が必要。		
(8) 教育環境		
評価項目	学校自己評価	関係者評価

①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2	2
【目標】 ・教育上必要な施設・設備の充実に努める。		
【具体的方策】 ・電子黒板の更なる活用をはかる。LED化の推進もはかる。		
【成果と課題】 ・ある程度の進展は見られた。更に努力をする。 ・学習に適した室温、湿度環境が確保できていない、廊下を含めビル全体での環境整備が必要だともう。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を提携しているか。	2	2
【目標】 ・実習施設はできるだけ充実をはかりたい。インターンシップも積極的に勧めていきたい。また、海外研修は人数の関係で団体では難しいだろうが、個別に進めていきたい。		
【具体的方策】 ・学内では実習室、パソコン室の活用をはかる。インターンシップは、受け入れ企業を開拓する。海外研修は、個別に対応して学生の研修を支援する。		
【成果と課題】 ・実習施設はある程度活用されている。更なる活用を目指す。 ・海外研修先（学校）との提携校を増やし安心して留学できるような支援をする必要がある。		
-自由記入欄- 海外留学はこの円安の中、欧米、オーストラリア、ニュージーランドなど厳しくなっていますね。		
(9) 学生募集		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①学生募集は適正に行われているか。	3	3
【目標】 ・時代が変わり学生の募集方法も変化を求められている。その変化に対応しながらより多くの学生募集につなげたい。		
【具体的方策】 ・ホームページ、SNS、LINEなどをフル活用してより多くの学生にアピールし学生増につなげる。		
【成果と課題】 ・成果が現れてきているようだ。更なる研究と実践が必要。		
-自由記入欄- 現代の若者の情報収集の手段は SNS でテレビ・新聞よりネット動画でのネットニュースを使用する傾向が強いです。生徒募集は SNS 使用で正解だと思います。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②学生募集活動において、資格取得・就職情報等の情報は正確に伝えられているか。	4	4
【目標】 ・あらゆる機会をとらえてできるだけ資格取得、就職等の情報を正確に伝える努力をはかる。		
【具体的方策】 ・入学案内、ホームページ、ガイダンス、オープンキャンパス等で資格取得、就職等の情報を正確に伝えるよう努力する。		
【成果と課題】 ・いろいろな手段でかなり伝えられていると思う。更なる努力をする。		
(10) 財務		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるのか。	2	2
【目標】 ・中長期的に財政基盤が安定するように最大限努力する。		
【具体的方策】		

・適正な学生数確保に注力をすると共に、その他の収入源（例えば貸室）の拡大にも努める。		
【成果と課題】		
・学生からの収入が不十分。学生増を通じて収入の増加を図る。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②財務について会計監査は適切に行われているか。	4	4
【目標】		
・会計を透明にするため、また不正を防止するため。		
【具体的方策】		
・監査役に年に2度の監査を受ける。		
【成果と課題】		
・問題なく行われている。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
③財務情報公開の体制準備はできているか。	4	4
【目標】		
・情報開示のルールに沿って財務情報を公開する。		
【具体的方策】		
・ネットを通じて財務情報を公開する。		
【成果と課題】		
・財務情報の公開はきちんと行われている。		
(11) 法令遵守		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか。	3	3
【目標】		
・法令、専修学校設置基準等の適切な遵守、運営に努める。		
【具体的方策】		
・法令、設置基準等も時代と共に変化するところもあるので、新しい法令、基準に沿って運営を行う。		
【成果と課題】		
・明確な法令違反は行われていない。出来るだけ法令を守る。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	3	3
【目標】		
・個人情報を守り、個人の保護のために個人情報を守るために努力する。		
【具体的方策】		
・個人情報は、どういう形であれ外部に持ち出さないよう徹底する。		
【成果と課題】		
・学内の情報の持ち出しのチェックがない。チェックを行うこと。		
(12) 社会・地域貢献		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	2	2
【目標】		
・学校として出来るだけ社会貢献・地域貢献できることに努める。		
【具体的方策】		
・貸し部屋の需要がある場合には、積極的に貸し出す。		
【成果と課題】		
・近在の人の要請により貸し部屋を行った。さらに積極的に働きかける。		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
②地域に対する公開講座、教育訓練の委託等を積極的に実施しているか	2	2
【目標】		
・公開講座受講希望者はできるだけ受け入れるよう努める。		
【具体的方策】		
・本校の科目の中から選択してもらい本校生と共に受講してもらう。		
【成果と課題】		

<ul style="list-style-type: none"> ・公開講座の受講者が少ない。増やす努力が必要である。 		
<p>-自由記入欄-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般向けの公開講座をぜひ。 ・熊本城案内英語バージョンの公開講座を。 		
(13) 国際交流		
評価項目	学校自己評価	関係者評価
①留学生の受け入れ、派遣について戦略を持っているか。	3	3
【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・海外からの留学生を受け入れることで国際交流の進展をはかり、同時に経営の安定を求める。派遣も努力する。 		
【具体的方策】 <ul style="list-style-type: none"> ・外国、特にアジア諸国から本校への留学生の受け入れを進める。 ・派遣については姉妹校への派遣が可能なら行いたい。 		
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で落ち込んでいたが留学生は増加傾向にある。今後もさらに募集に力を入れる。姉妹校への派遣も行いたい。 ・英語科の学生が入学前に期待する「国際交流」に答えるためにも、英語圏、中国、韓国からの留学生（同世代）の受け入れを行い、本学生のモチベーションアップや語学力向上につながるのではないかと思う。 		
<p>-自由記入欄-</p> <p>課題にありましたように、円安なので逆に英語圏からの日本語留学生の獲得を頑張っていたきたい。</p>		